

。○。○。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2015. 3. 23

下水道機構の『新技術情報』 第182号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。○。○。

3/21@鹿児島を皮切りに2015年の桜前線がスタートしました！東京は、つい先ほど、開花が宣言されました（機構近くの江戸川公園も咲き始めました）。が、その前からちらほら桜が咲いているのはなぜ？答えは、桜の標本木が、「ソメイヨシノ」だからです。河津桜や、大寒桜などは、ソメイヨシノより早く咲くようですね。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第182号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・3月の技術サロンは千葉市下水道局 前建設部長 土屋 潔氏をお迎えして開催しました
- ・3/19(木)に高度処理ナレッジ創造戦略会議（第3回）を開催しました

■機構の動き

- ・今週は、行事はありません

■Tea Break

- ・痛勤から通勤へ（技術評価部 A.T）

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回は、研究第一部 S.0 さんから、3/14 に開通した、「あの新幹線情報」をお届け！ さて、「あの新幹線とは？」

■国からの情報

- ・3/20 付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。○。○。

インフォメーション（最新の話です）

。○。○。○。○。○。

- 3月の技術サロンは千葉市下水道局 前建設部長 土屋 潔氏をお迎えして開催しま

した。

今回のテーマは、「市民協働による水辺づくりとその後の維持管理」でした。土屋氏は、千葉市建設部長時代立ち入りが禁止されていた「こてはし台雨水調整池」を、地元の方々と一緒になり親水公園としてリニューアルし、管理を住民の方々に委託するとともに、退職後は、住民の一員として管理にたずさわっており、役所の担当者として、また住民の両方にたずさわっている貴重な経験及び教訓などについてご講演いただきました。

さて、次回のサロンは、4月9日（木）17:00から18:00。ゲストには東京都下水道局計画調整部緊急重点雨水対策事業担当課長 中井 宏氏をお迎えして「東京都における浸水対策の取り組み」をテーマに開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしております！お申し込みは機構ホームページから

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

●3/19(木)に高度処理ナレッジ創造戦略会議（第3回）を開催しました

本会議は、処理水質を段階的にでも向上する「段階的高度処理」を推進するため、国土交通省水管理・国土保全局下水道部と本機構が事務局となり、設置されたものです。

第3回目の今回は、段階的高度処理について、全国の好事例を収集して作成したガイドライン（案）の説明をし、意見交換を行いました。今回頂いた意見を踏まえて最終的なとりまとめをしていきたいと考えています。

。○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○。

○平成27年3月31日(木)13:00~14:00

行 事：平成26年度 新技術研究成果証明書交付式

場 所：機構8階 中会議室

案 件：管きよの長寿命化を目的とした部分改築工法の開発に 関する共同研究
下水道用マンホール改築・修繕工法に関する共同研究

○平成27年4月9日(木) 17:00~18:00

行 事：第336回技術サロン

場 所：機構8階 中会議室

ゲスト：東京都下水道局計画調整部

緊急重点雨水対策事業担当課長 中井 宏 氏

テーマ：「東京都における浸水対策の取り組み」

※参加お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○。

●痛勤から通勤へ（技術評価部 A.T）

東海道線で痛勤しております。近頃、電車が事故等で停まったり、遅れたりすることが多く、その影響もあるようです。その車内で感じたことですが、最近、乗り物の中でほとんどの人が下を向き、一生けん命にスマートフォンを覗き込んで指で操作をしています。スマホを持ってないものとしては、何をそれだけ熱心に小さな画面を見ているのか不思議です。ちなみに私は、携帯電話（通称：ガラケー）を愛し、スマホに変更せずガンバっております（単に料金が高くなるため）。しかし、かくいう私も痛勤電車の中では、ほとんど下を向いて小説を読んでいます。車内で読みやすいよう文庫本で、推理的な要素を含んだものを愛読しております。貴重な読書の時間ですが、痛勤時間が長く、一冊を2～3日で読み切ってしまう。面白かったものは、再度、読み直します。読み直すと、初めに気付かなかった箇所があったりと楽しんでおりますが、この姿も他人から見れば、スマホ族と変わらないかもしれません。

話を元に戻し、そっと横目で覗いてみるとほとんどの人が、指をちょこちょここと動かし、ゲーム、メール（LINE?）に夢中なようです。少し前までは、若い人が多かったのですが、最近は、老若男女区別がありません。（お年寄りが、目を細めて一生懸命にスマホをいじっている姿が、ほほえましく、手伝いたくなくなってしまいます。）

つい先日のことですが、うまく席が確保でき、いつものように文庫本を読んでいると、隣の席が空き、その前に立って一生懸命にスマホをいじっていた婦人（年齢は不詳）が座りました。しばらくすると、肘が私の方へ、「ぐいぐい」と押し付けられてきます。「えー」と体が大きな男性ならばまだしもと思い、少しよけるとまた、押してきます。そっと隣をうかがうと、スマホを両手で持ち、ゲームに夢中になっております。ゲームに夢中になるほど体近くにスマホを持ち、操作をするため、両肘が張ってくるためだと思われまふ。そこで私も押されるのが嫌で、除けたり、少し座りなおしたりするのですが、お構いなしです。逆に顔を横に向けて睨むような素振りをする。それからしばらく、不愉快な数日を過ごした次第です。（「人類の進化の果てか スマホ歩行」旧人類 サラリーマン川柳より）世の中には、いろいろな方がいるものです。くれぐれも短気を起こさず、痛勤電車では、他人に迷惑のかからないようおとなしくして、痛勤電車を通勤電車にしようと思う今日この頃です。

大変申し訳ございませんが、この紙面を借りて、ご挨拶させていただきます。私、3月をもって機構を退職することになりました。皆様には、在職中大変お世話になり、ご迷惑をおかけました。またどこかで皆様とお会いする日を楽しみにしています。大変ありがとうございました。

。○。

まる子のゆいまーる（皆様との交流の場です）

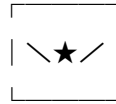
。○。

●今回は、研究第一部 S.O さんから、3/14 に開通した、あの！新幹線情報をお届け！

そう！あの新幹線とは「北陸新幹線」ですよ～!(^^)!まる子も乗ってみたい♪
<http://www.jiwet.or.jp/archives/yuimaru/2015-3-23>

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション (2015. 3. 20 付 国からの最新情報です)

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 本田康秀

=====

★★★★★ ラインナップ ☆☆☆☆☆

●下水道污泥エネルギー化技術ガイドライン-改訂版-・下水道污泥のエネルギー化技術
導入簡易検討ツールの公表について【国土交通省】

●§ ご案内 § はとバスが G K P ・東京都とコラボでツアー開催！

【下水道広報プラットフォーム (GKP)】

●第 3 回 G K P 広報大賞の事例を募集 応募締切りは 4 月 3 0 日！

【下水道広報プラットフォーム (GKP)】

●「うんち大研究！下水道ワークショップ」のホームページ開設について【国土交通
省】

○国土交通省災害・防災情報 (<http://www.mlit.go.jp/saigai/index.html>)

=====

●下水道污泥エネルギー化技術ガイドライン-改訂版-・下水道污泥のエネルギー化技術
導入簡易検討ツールの公表について【国土交通省】

国土交通省では「下水道污泥エネルギー化技術ガイドライン (案)」(平成 2 3 年
3 月)について、近年の技術動向等を踏まえて改訂し、「下水道污泥エネルギー化
技術ガイドライン-改訂版-」として公表しました。あわせて、下水道污泥エネルギー化

導入の初期検討を支援する「下水汚泥のエネルギー化導入簡易検討ツール」を開発し、公表しました。検討ツールは、固形燃料・バイオガス発電の導入について、処理水量を入力するだけで、事業費及び年間経費削減額、省エネルギー量・温室効果ガス排出削減量が概算できる簡易なものです。下水汚泥のエネルギー化導入の初期検討に活用ください。

公表 URL

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000124.html

● § ご案内 § はとバスがG K P・東京都とコラボでツアー開催！

【下水道広報プラットフォーム（GKP）】

下水道広報プラットフォーム（GKP）は、はとバスならびに東京都下水道局がコラボレーションし、とてもユニークで楽しいツアーが実現しました。開催期間は平成27年3月21日～4月5日（3月23日・30日運休）、4月28日～5月6日（5月4日運休）。料金は大人7,400円、子ども3,590円です。皆さんもご家族やお仲間を誘って、是非ご参加下さい。

<うきうき！！TOKYOアドベンチャー>

期 間：

- ・第一期…3月21日～4月5日（除く3月23日、30日）…春休み期間
- ・第二期…4月28日～5月6日（除く5月4日）…GW

料 金： 大人7,400円、子供3,590円（昼食付）

コース：

- ・東京駅丸の内南口8時50分集合 → 18時30分散
- ・葛西水族園→サンルートプラザ東京（和食バイキング）→有明水再生センター
→お台場「台場一丁目商店街」→印刷博物館

詳細、予約確認、申込み等は以下のはとバスのサイトからお願いします。

<http://search.hatobus.co.jp/main/detail.php?id=20812&kind=s&saikou=2&pno=6&sort=1>

●第3回G K P広報大賞の事例を募集 応募締切りは4月30日！

【下水道広報プラットフォーム（GKP）】

下水道インフラの価値を高める上で優れていると思われる広報活動事例を広く発掘、表彰し、下水道界に普及させていくことを目的とする「G K P広報大賞」を募集します。

募集締切りは4月30日までとなっておりますので、是非ご応募ください。

<表彰内容>

○グランプリ・準グランプリ

下水道インフラの価値を高める上で最も優れている、又はこれに次ぐと認められた事例。

○部門別表彰

部門毎に最も優れていると認められた事例。

○特別賞（審査員特別賞、会員等投票特別賞）

上記のほか、審査員、会員等による評価が特に高かった事例。

※部門別表彰は媒体や広報の主体等を勘案し、下記の部門ごとに表彰します。

(1)報道部門

①テレビ報道部門、②新聞報道部門、③雑誌等報道部門

(2)広報部門

①行政広報部門、②企業・団体等広報部門（ともに広告を除く）

(3)広告部門

(4)電子媒体部門

エントリー方法などの詳細は下記のホームページをご覧ください。

G K P 広報大賞 <http://www.gk-p.jp/taishou27.html>

●「うんち大研究！下水道ワークショップ」のホームページ開設について【国土交通省】

うんち大研究！下水道ワークショップは、環境教育を推進すべく今年度より国土交通省で始めた取り組みです。この度、全国どこでも楽しく実施できるよう「運営マニュアル」を作成しました。詳しくは、以下のサイトをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000363.html

ワークショップの内容や教材、これまでの実施事例についても掲載しております。本ワークショップをやりたい方、興味がある方は、国土交通省下水道企画課までご連絡ください。

=====

◆<国連防災会議>「発展の核に」下水道シンポ 〈3/18 河北新報〉

http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201503/20150318_13065.html

◆水道管への汚水遮断 和歌山市職員、空気弁を発明 〈3/13 読売新聞〉

<http://www.yomiuri.co.jp/local/wakayama/news/20150312-0YTNT50192.html>

◆希少資源リンを国内回収 日立造船など、堆肥・下水から 〈3/16 日本経済新聞〉

http://www.nikkei.com/article/DGXLASDZ10H1F_W5A310C1MM0000/

◆外務政務官がイラクのクルド自治区訪問（下水道整備事業への円借款供与）〈3/16 日本経済新聞〉

http://www.nikkei.com/article/DGXLASFS15H2W_V10C15A3PE8000/

◆下水処理場で民間が発電 宮崎市 増収見込む 〈3/18 読売新聞〉

<http://www.yomiuri.co.jp/local/miyazaki/news/20150317-0YTNT50070.html>

◆下水処理：バイオガスのエネルギー抽出 横浜市が共同研究 〈3/12 毎日新聞〉

<http://mainichi.jp/select/news/20150313k0000m040074000c.html>

◆水素社会の実現／東北の特性生かし先導役に 〈3/13 河北新報〉

http://www.kahoku.co.jp/editorial/20150314_01.html

◆松山市下水ガス発電完成 東京の会社に売電 〈3/16 愛媛新聞〉

<http://www.ehime-np.co.jp/news/local/20150316/news20150316622.html>

◆「いなりん」マンホール登場 〈3/18 東日新聞〉

<http://www.tonichi.net/news/index.php?id=43619>

◆足元から「横浜愛」 ベイがマンホールふた寄贈 〈3/20 神奈川新聞〉

https://www.kanaloco.jp/article/85704/cms_id/132010

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20141031/>

○ニュースレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20141031/seikai7.pdf>
